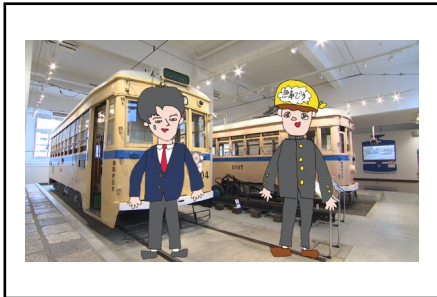
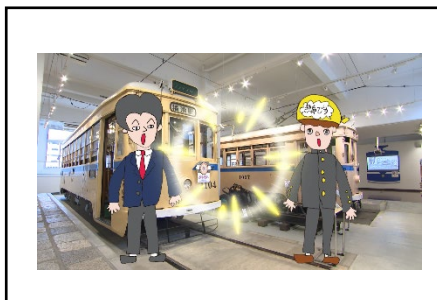


第2話「バンダナに託されたミッション」(再生時間：2分57秒)



イソゴ：お待たせ～！今日も昔の電車見ようぜっ  
ハマノ：そのピンポイントな誘い方やめてくんない？  
…てか、なにそれ？  
イソゴ：え？これバンダナ！おしゃれだろ～  
ハマノ：今どき黄色のバンダナって、それに何か書いてある…  
イソゴ：え？  
ハマノ：…「無事です」だって  
イソゴ：「無事です」…ってホントだ！  
イソゴ：え、ちょっとこれ恥ず！えちょっと待って早く言ってよ  
家からこれ付けてきちゃった…

イソゴ：でもこれ…  
ハマノ&イソゴ：どういう意味なんだ？



ハマノ&イソゴ：ああ～！  
イソゴ：また来たあ！  
ハマノ：眩しい～  
サイミ：サイミちゃんがあ～！？来たあー！！  
イソゴ：来たかあ～  
ハマノ：テンション高いなあ  
サイミ：来るうー！！  
ハマノ：どっち？  
サイミ：来てえー！！  
イソゴ：えっ  
サイミ：いるうー！！  
ハマノ：そりゃいるでしょ自分で来たんだから…  
イソゴ：こわいこわい



サイミ：防災について疑問を持った、そこのキミ！  
私は防災のことなら何でも知っている天使、防災美  
よ！  
ハマノ：防災美ね、うん  
サイミ：そろそろ慣れたかしら？  
イソゴ：はい、実は待ってました

ハマノ：待ってたんだ

サイミ：その黄色いバンダナはね、こう呼ぶの！  
「災害時安否確認バンダナ」

ハマノ：しっかりした名前

サイミ：このバンダナは地震発生後に使うバンダナなのよ  
イソゴ：あ～そうだったのか頭に付けちゃったあ！

ハマノ：まあそんな気はしてた

イソゴ：おい知ってるなら言ってくれよ



サイミ：地震発生直後、自分のお家が無事だということを近所の  
人に知らせるために、ドアノブやベランダにバンダナ  
を結ぶのよ

イソゴ：これは固結び？蝶々結び？

ハマノ：そここだわってないよ

サイミ：で、「黄色いバンダナ」を見えるようにしておくの  
イソゴ：あ～これは分かりやすいなあ

サイミ：これがあると無事かどうか分かりやすくて良いでし  
よ？

ハマノ：確かにそれは良いね

サイミ：そこで！キミたち中学生の力が必要になってくるわ！

ハマノ：急な大声やめてよもう

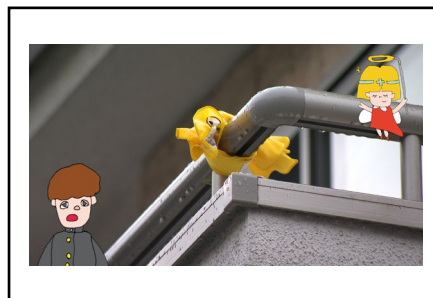
サイミ：バンダナがついているかどうかをみんなで確認してい  
くの！

中学生たち：無事です！

中学生たち：無事です！

イソゴ：なるほど！

サイミ：そしてそれを地域の代表に報告！



中学生：田中さん家はバンダナありました

イソゴ：おーそれは緊張するなあ

ハマノ：でもバンダナがない時は？



中学生：無事じゃないかもです！

イソゴ：ええ～!どうするの!?どうするの!?

サイミ：そんなときも地域の代表に報告

中学生：鈴木さん家にはバンダナがありません



サイミ：そのあとの対応を教えてくださいわ

イソゴ：やっぱ大人つえ～！

ハマノ：頼りになるなあ

サイミ：ということで災害時に役立つとっても大事なバンダナ  
なのよ、わかったかしら？

サイミ：それじゃあ防災なら～

ハマノ：お～くだらないダジャレを置いて帰ったな

イソゴ：いやあ良い挨拶だなあ

ハマノ：良い挨拶じゃないだろ

ハマノ：ちょっと待て、これさ家にないとダメなんじゃない？

イソゴ：確かにそうだった急いでこれ家に戻さないと！

……じゃ今日は解散で！

ハマノ：いやまだ14時だぞ早いだろ

イソゴ：いやだってもう終電が…

ハマノ：どこ住んでんの？おまえ…

